

教科・科目	みらい探究①	単位数	1(通年)
		コース・年次	平日登校コース・2年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自ら課題を見つけ、主体的に判断し、問題の解決や探究活動に主体的に取り組むための方法と考え方を知り、活用することができる。
使用教科書・副教材等	『令和4年度履修ガイド』等

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a 知識・技能	文献やインターネットを使って情報を収集したり、自分の考えを図や文章で表現したりすることができ、課題を設定し、解決に導くための方法を理解している。	観察 提出課題	30%
b 思考・判断・表現	情報を分析・整理して自分の興味・関心に合った課題を設定したり、問題について自分の考えをもったりしている。	観察 提出課題	40%
c 主体的に学習に取り組む態度	身近な問題について主体的に情報を収集し、自分の考えを深めようとしている。	観察 提出課題	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期	4	1	前期ガイダンス	・みらい探究①の前期の学習の流れを理解しようとする。			○
		1	自分を知る	・自己分析を通して、自己の将来について具体的に考えようとする。			○
	5	3	探究学習の基礎	・インターネットや図書館を利用した探究的な学習方法を理解できる。	○		
		1	問いをつくる方法を知る	・探究的な学習を行っていくために必要な問いの作り方を理解できる。	○		
	6	1	調べ学習とレポートの作成 ①課題の設定	・自己の興味・関心を起点にして、具体的な調査課題を設定できる。		○	
		2	②情報の収集	・設定した課題を解決するために必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集することができる。	○		
	7	3	③整理・分析	・収集した情報の事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成しようとする。			○
		1	④まとめ・表現	・調査したことを基に、レポートを書く。		○	
	8	1		・調査したことを基に、レポートを書く。		○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期	9	2	④まとめ・表現	・調査したことを基に、レポートを書く。		○	
		1	前期の学習のまとめ	・リフレクションシートや、自分で作成したポートフォリオで前期の学びを振り返ることで、自己の将来について夢や希望をもつことができる。		○	
後期	10	1	後期ガイダンス	・みらい探究①の後期の学習の流れを理解しようとする。			○
		1	3. 問題をベースにした学習 ①課題の設定	・与えられた課題について、問題の所在が明らかになるよう、多角的な視点で検討する。		○	
		2	②情報の収集	・問題解決のために必要な情報を明確化し、収集しようとする。			○
	11	1		・収集した情報を踏まえて、再度収集すべき情報を決定することができる。	○		
				(②情報の収集 授業に間に合うよう、各自で準備する)			
		3	③整理・分析	・収集した情報を多角的・实际的に分析することができる。	○		
	12	3	④まとめ・表現	・整理された情報等を基に、実行可能な問題の解決策を提案しようとする。			○
	1	3		・調査したことを基に、レポートを書く。		○	
	2	3		・年間の学習を振り返り、それぞれの単元で学んだ内容をポートフォリオ作成を通して理解できる。	○		
	3	1	後期の学習のまとめ	・リフレクションシートや、自分で作成したポートフォリオで1年間の学びを振り返ることで、自己の将来について夢や希望をもつ。		○	
【先生からのメッセージ】 みらい探究①は、課題を設定し、情報を収集し、整理・分析し、まとめ、表現するという学習です。この探究のサイクルは、みらい探究②③に続いていく礎となります。なお、定期考査は行いません。授業での取り組みや、定期的に課されるレポートなどの課題を用いて評価します。							

教科・科目	みらい探究②	単位数	1(通年)
		コース・年次	平日登校コース・3年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自己の興味や適性に合った進路や生き方在り方について考えながら、仕事や学問について主体的・創造的に探究することができる。
使用教科書・副教材等	『令和4年度履修ガイド』等

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a 知識・技能	仕事や学問について情報を収集、整理し、自分の感じたことや考えたことを文章にまとめることができ、さまざまな分類があることを理解している。	観察 提出課題	30%
b 思考・判断・表現	自分の進路決定に資する情報に焦点化し、仕事や学問に関する情報を分析・整理している。	観察 提出課題	40%
c 主体的に学習に取り組む態度	自己の興味や適性に合った進路や生き方、仕事や学問について主体的に探究しようとしている。	観察 提出課題	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期	4	1	前期ガイダンス	・みらい探究②の前期の学習の流れを理解しようとする。			○
		1	自己の進路の探究 ①課題の設定	・自己の進路希望を踏まえて、グループで解決する進路に関わる具体的な調査課題を設定し、必要な調査方法等を理解しようとする。			○
	5	3	②情報の収集	・設定した課題を解決するために必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集する。		○	
		1	③整理・分析	・収集した情報を整理・分析し、グループで検討し合うことで、新たな課題を見出すことができる。	○		
	6	1	④課題の再設定	・前時までの調査等の成果を踏まえて、再度グループで解決するための具体的な調査課題を設定し、必要な調査方法等を理解できる。	○		
		2	⑤情報の収集	・再設定した課題を解決するために必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集しようとする。			○
	7	2	⑥整理・分析	・2度に渡って収集した情報を総合的に整理・分析することができる。	○		
	2	⑦まとめ・表現	・調査したことを基に、レポートを書く。		○		

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期	8	3	⑧まとめ・表現	・調査し、整理したことについて、パワーポイント等に整理し、他者に報告する。		○	
	9	1	前期の学習のまとめ	・リフレクションシートや、自分で作成したポートフォリオで前期の学びを振り返ることで、自己の将来について夢や希望をもつことができる。		○	
後期	10	1	後期ガイダンス	・みらい探究②の後期の学習の流れを理解しようとする。			○
		1	2. プロジェクトをベースにした学習 ①課題の設定	・前期で行った学習を踏まえて、グループで課題を設定しようとする。			○
		2	②情報の収集	・問題解決のために必要な情報を明確化し、収集して内容を理解しようとする。			○
	11	1		・収集した情報を踏まえて、再度収集すべき情報を決定することができる。	○		
		3	③整理・分析	・収集した情報を多角的・实际的に分析することができる。	○		
	12	3	④まとめ・表現	・整理された情報等を基に、実行可能な問題の解決策を提案する。		○	
	1	3		・調査したことを基に、レポートを書く。		○	
	2	3		・年間の学習を振り返り、それぞれの単元で学んだ内容をポートフォリオ作成を通して理解できる。	○		
	3	1	後期の学習のまとめ	・リフレクションシートや、自分で作成したポートフォリオで1年間の学びを振り返ることで、自己の将来について夢や希望をもつことができる。		○	
<p>【先生からのメッセージ】 みらい探究①で学習した探究のプロセスを用いて、自らの進路に関する課題を発見し、それを調べ、解決するために何が出来るかを考え、実行していきましょう。なお、定期考査は行いません。授業での取り組みや、定期的に課されるレポートなどの課題を用いて評価します。</p>							

教科・科目	みらい探究③	単位数	1(通年)
		コース・年次	平日登校コース・4年次

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	よりよい社会をつくるために取り組むべき課題を見つけ、それらに主体的・創造的・協働的に取り組むための情報を整理・分析するとともに、自分の考えを目的や場に合った表現で他者に説明することができる。
使用教科書・副教材等	『令和4年度履修ガイド』等

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a 知識・技能	自分の経験や考えを整理し、相手や場に応じて適切に表現することができ、進学や就職における一般的な様式を知り、それに合わせた書き方を理解している。	観察 提出課題	30%
b 思考・判断・表現	よりよい社会をつくるために取り組むべき課題について、自分と社会の関わりを踏まえて自分の考えをまとめている。	観察 提出課題	40%
c 主体的に学習に取り組む態度	自分の視野を広げ考えを深めるための活動に積極的に取り組み、自己理解や進路実現に役立てようとしている。	観察 提出課題	30%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点		
					a	b	c
前期	4	1	前期ガイダンス	・みらい探究③の前期の学習の流れを理解しようとする。			○
		1	自己PRと志望理由の作成 ①自己を知る	・自らの特性や個性を知るために、積極的に考えようとする。			○
	5	2	②情報の収集	・他の生徒や教員へのインタビュー等で、他己分析を行い、自らの特性や個性についての情報を収集することができる。	○		
		2	③整理・分析	・収集した情報を整理・分析し、自らの自己PR文を作成しようとする。			○
	6	1	④相手を知る	・自らの希望している進路について、現時点で知っていることと知らないこと、知るべきことを理解できる。	○		
		2	⑤情報の収集	・前時に「知るべきこと」として明確化した課題について、情報を収集することができる。	○		
	7	2	⑥整理・分析	・収集した情報を整理・分析し、自らの希望している進路実現のために、何が必要であるかを考える。		○	
	2	⑦まとめ・表現	・作成した自己PRと、進路実現のために必要なことを踏まえて、志望理由の作成をする。		○		

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	
前期	8	3	⑧まとめ・表現	・作成した自己PR及び志望理由を、他者に効果的に説明する。		○		
	9	1	前期の学習のまとめ	・リフレクションシートや、自分で作成した志望理由書等で前期の学びを振り返ることで、自己の将来について夢や希望をもつことができる。		○		
後期	10	1	後期ガイダンス	・みらい探究③の後期の学習の流れを理解しようとする。			○	
		1	自らの進路設計 ①課題の設定	・自らの進路を実現するために、今後必要なことについて理解しようとする。			○	
		2	②計画の立案	・必要なことができるようになるために、どのような計画を立てて実行していけばよいかを考える。		○		
	11	1	③計画の実行	・自らの進路を実現するために立てた計画にしたがって、学習を進めようとする。			○	
		3		・計画を実行するにあたって、必要に応じて情報を収集することができる。	○			
	12	1	④計画の振り返りと再検討	・実施した計画を振り返り、自らの能力について正確に理解できる。	○			
		1		・以前立てた計画とその振り返りを基に、実行可能性の高い計画を立てようとする。			○	
		1	⑤計画の実行	・計画を実行するにあたって、必要に応じて情報を収集することができる。	○			
		1	3		・うまく進んでいない計画について、どのように行えばうまく実行できるかを考える。		○	
		2	1	⑥計画の振り返りと自己分析	・年間の学習を振り返り、自分にとって今年度できるようになったことと、できるようになりたいことを理解できる。	○		
			2		・前期考えた自己PRについて、後期の学習を通してできるようになったことを踏まえて修正する。		○	
		3	1	後期の学習のまとめ	・リフレクションシートや、自分で作成したポートフォリオで1年間の学びを振り返ることで、自己の将来について夢や希望をもつことができる。		○	
【先生からのメッセージ】 みらい探究③は、自分を知り、希望先の進路について知ることで、社会に出てどのような貢献をしていけるかを考え、そのためにできる限りのことを行っていきます。なお、定期考査は行いません。授業での取り組みや、定期的に課されるレポートなどの課題を用いて評価します。								